

マネジメント力養成講座

考えて 踏み出そう！

自分のキャリア 共感できる組織のビジョン

オンライン開催！

講師

塚原 月子 氏

Tsukiko Tsukahara



株式会社カレイディスト 代表取締役
全国ダイバーシティネットワーク コーディネーター

本学では、今の働き方ではキャリア継続が困難だと感じる割合が女性において特に多い、男女ともに研究時間を確保する必要性を感じるなどの具体的な課題が見えてきています。これらの課題に対して制度の整備を行うことはもちろん、個々の研究者が自らのキャリア形成を具体的に描き、また組織や管理職層はその実現に向けて具体的なサポートをすることも求められています。本講座では、研究者個人及び管理職のそれぞれの視点から、研究者個人と組織双方にとってwin-winとなり得るようなありたい姿を実現する上で必要なリーダーシップやコミュニケーションについて双方向性の高い議論を通じて養成することを目的とします。

対象

日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー(株)に所属する教職員
第1回と第2回は対象者が異なります。第3回はどなたも参加できます。

第1回

見えていますか？ 自分のキャリアとミッション

対象：若手研究者（講師までの医師・研究者）

2021年5月26日（水） 18:00～20:00

第2回

組織と個人のあり方

～ Win-Winになるビジョン、それをWILLでつなげるために～

対象：管理職（准教授以上の医師・研究者）

2021年6月17日（木） 18:00～20:00

第3回

組織のビジョンと個人をつなげる

インクルーシブリーダーシップ

対象：全教職員

2021年7月29日（木） 18:00～20:00

お申込み
お問合せ

しあわせキャリア支援センター

app-shien@nms.ac.jp 03-3822-2131 内線 5500,5501



主催 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、アンファー株式会社

講座概要

考えて 踏み出そう！

自分のキャリア 共感できる組織のビジョン

講師

塚原 月子 氏

Tsukiko Tsukahara



株式会社カレイディスト 代表取締役
全国ダイバーシティネットワーク コーディネーター

運輸省（現国土交通省）、ボストン・コンサルティング・グループ、カタリスト・ジャパンを経て、2018年に株式会社カレイディストを設立。

ダイバーシティとインクルージョンの重要性、インクルーシブ・リーダーシップ、女性のキャリア推進、働き方改革、チェンジマネジメントなどのトピックを主に扱うコンサルティング・アドバイザーサービス、講演・ファシリテーションサービス、研修・ワークショップサービス等の提供を行う。2019年G20大阪サミットで立ち上げられたEMPOWERの日本代表の一人。職場のインクルージョンを通じて女性のキャリア推進をグローバルに支援する企業会員制の非営利機関カタリストの日本における諸活動のアドバイザーも務める。

ダートマス大学タック経営大学院修士（MBA）、東京大学経済学部卒業。

自身も、3児をもつ母親として、育児と仕事の両立しながら柔軟な働き方を模索中。

第1回

見えていますか？

自分のキャリアとミッション

対象：若手研究者（講師までの医師・研究者）

2021年5月26日（水） 18:00～20:00

アンケート結果から見えてきた課題を掘り下げて、真に解決を図るべき問題は何か議論します

5年後、10年後の自分のキャリアを展望し、そこから逆算したときに見えてくる乗り越えるべき壁に気づきを持ちます

個人としてありたい姿を実現するために組織にどうあってほしいか、そのために自分も組織に対して貢献できることは何かを考えます

第2回

組織と個人のあり方

～ Win-Winになるビジョン、それをWILLでつなげるために～

対象：管理職（准教授以上の医師・研究者）

2021年6月17日（木） 18:00～20:00

アンケート結果及び第1回セッションでの議論内容を踏まえ、組織として、管理職として対応すべき課題の全体像に向き合います

多様性を包含する多くの研究者個人と組織がWin-Winとなるような姿について、イメージを出し合います

管理職として自分がどんなアクションを取れそうか考えます

第3回

組織のビジョンと個人を

つなげる インクルーシブ
リーダーシップ

対象：全教職員

2021年7月29日（木） 18:00～20:00

医療研究分野におけるジェンダーダイバーシティの今日的意義について、世界の潮流も踏まえて学びます

第1回、第2回を通じて出てきた個人と組織のありたい姿の実現を全体で共有します

ありたい姿を実現に向けて、自立した個による多様性を活かす組織の運営とは、

そのような組織を共創するために、一人ひとりが取り組めることを見つけ、自分自身のアクションプランとします

各回とも、オンラインでのリアルタイムサーベイツールなどを用いた
双方向性の高いセッションを実施します